



# 研究所だより

那覇市立教育研究所

那覇市金城3-5-3

Tel 891-3441 Fax 857-8681

naha-c@naha-c.nahaken-okn.ed.jp

所長 田中 浩三



学校訪問から「ノート指導」を見る

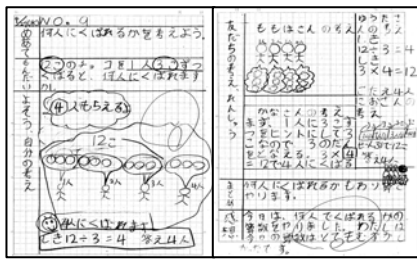
本年度も那覇市内の幼小中学校の学校訪問に参加させて頂き(市教委六回、事務所九回)、授業参観等多くの取組を見る機会を得ることができた。

その中で特に印象的なことは、小中学校における「ノート指導」の充実である。例えば、K小学校三年生の算数ノート(下写真)を見ると、罫線で区切られた枠の中に「①問だい②めあて③自分の考え④友だちの考えとれんしゅ⑤まとめ⑥感想」という項目に見開きで見やすく、丁寧にまとめられている。このノートを一目するだけで、子ども自らの力をフルに活用して問題解決に努力し、日々成長している様子が伺える。さらに、このノートには学習効果を高める教師の意図的で継続的な指導も垣間見える。このような指導が校内研究等、全校的な取組により着実に実践されているのが各学校の充実につながっているのではないかと考える。

では今、「ノート指導」が重視されているのはなぜだろうか。その理由の一つとして、学習指導要領の重点取組事項でもある「思考力・判断力・表現力」の育成と「ノート指導」との関連性から考えることができる。

前述の算数ノートを参考にすると、授業で子どもは①問題に対して②めあてをもつて自ら思考・判断し解決するために取り組んでいる。そのとき、思考・判断の妥当性を見るためには、③自分の考えの欄にあるようにしっかりと書かせることが大切である。書くことを通して子どもにとっては自分の考えを確認でき、教師にとっては子どもの思考・判断に寄り添う評価や個に応じた指導ができ、結果的には「思考力・判断力・表現力」を高めることにつながる。さらに、④友達の考えの欄にあるように、書いたことをもとに他者に説明したり話し合ったりすることで表現力等の育成ができる。このように考えるとノート指導の大切さが理解できる。

各学校では「ノート指導」の意義等を充分理解し、日々工夫と努力を重ねているものだと思う。今後とも「ノート指導」の充実を通して、「思考力・判断力・表現力等」を育み、確かな学力の向上につなげていけたらと考えている一人である。



●9月24日(月)、半年間にわたり研究を重ねてきた第98期教育研究員の成果報告会及び修了式が開催されました。那覇教育事務所所長又吉繁様をはじめ、多くの来賓の皆様が見守る中、本研究所所長から研究員は緊張した面持ちで修了証書を受け取りました。

## 第98期 研究員 修了式



9月24日(月) 第98期 研究員の皆さんは成果報告会を終え、半年間にわたる研究生生活を修了しました。研究報告書はホームページに掲載しておりますので、ご活用ください。

## 第98期 教育研究員 成果報告会



金城 恵

各検討会ごとに研究を進めることができ、多くの指導助言を頂きました。指摘された箇所を考え直すたびに、私自身の研究構想が明確になり、研究の方向性がぶれずにゴールにたどり着くことができました。この半年間、私たちの研究に関わって下さった所長をはじめ指導主事の先生方に感謝の気持ちでいっぱいです



上原 学



新垣 真

まさに田中所長が4月におっしゃっていた「共に学び、共に考え、共に育つ」研究生生活だったと思います。この成果報告会と修了式をもって、98期の研修を修了することになりますが、お互いにこれからも切磋琢磨しながら、教育活動に寄与していく仲間でありたいと思います。



奥間ナリ子

## 第99期 研究員 入所式



10月2日(火)に第99期研究員の入所式が行われました。

|        |       |      |
|--------|-------|------|
| 洲 鎌 裕子 | 与儀幼稚園 | 幼児教育 |
| 仲 地 健  | 城北小学校 | 社会科  |
| 石 川 広美 | 城西小学校 | 国語科  |
| 松 茂 良  | 尚哉    | 道徳   |



## お勧め月刊誌

### 『中等教育資料』

学事出版(前ぎょうせい)

中学・高校での授業の実践や、校内研究に必要な理論・実践事例を豊富に紹介。学習指導要領のねらいや実践のヒントを、文部科学省教科調査官などの執筆陣が論述。



図書室にて貸し出ししています♪